

ちひろ美術館 × 文化服装学院 共同企画

ちひろのキッズファッション

2019年3月1日(金) ~ 5月6日(月・祝)

主催：ちひろ美術館 共催：学校法人文化学園 文化服装学院
 後援：絵本学会、(公社)全国学校図書館協議会、(一社)日本国際児童図書評議会、日本児童図書出版協会、(公社)日本図書館協会、杉並区教育委員会、西東京市教育委員会、練馬区



1. パラと少女 1966年

私が一ばん好きだった洋服を思い出す。

白いボイルの地に白いレースがついていた。

ベルトは朱子織しゅすおりのももいろのリボンで、

うしろで結ぶようになっていた。

いわさきちひろ 1970年

ちひろが描いたおしゃれな子どもたち

美しい色調やモダンなデザイン、いかにも着心地のよさそうな服を着ている子どもたちが登場するいわさきちひろの絵。「装苑」(文化出版局)をはじめとしたファッション雑誌やスタイルブックなどにも、ちひろは子ども服のデザイン画や、母と子の日常の姿を数多く描いています。こうした作品には、ちひろ好みのデザインやファッションセンスがちりばめられています。本展ではちひろが描いたおしゃれな子どもたちに焦点をあてて紹介します。



3. あやめと少女 1967年



2. 緑の風のなかで 1973年

文化服装学院との共同企画として、ちひろの絵からイメージを拡げて制作された子ども服やデザイン画などもあわせて展示します。花咲く春、ちひろ美術館・東京で、クリエイティビティに溢れた学生たちの創造力をお楽しみください。



ちひろと文化服装学院の関わり

戦前の一時期、ちひろが文化服装学院と深く関わっていたことは、あまり知られていません。ちひろは、女学校の補習科時代（18歳）に、後に文化服装学院の重鎮になる書家の小田^{おだ}周洋^{しゅうよう}に師事し、藤原^{ふじわらの}行成流^{こうせい}の和仮名を学びます。1940年ころ、ちひろは周洋の師範代として、文化服装学院で学生たちを指導しました。戦後、画家となってからのちひろは、1950年代後半より絵本画家として絵雑誌や絵本の仕事をするかわら、文化出版局の「装苑」にはたびたび子ども服のデザイン画を、「ミセス」には子どもたちのいきいきとした姿や母と子のくらしのようすなど、たくさんの挿し絵を描きました。



4. おかさんとふたりの子ども 1971年
雑誌「ミセス」(文化出版局)より

ちひろの絵から生まれたキッズファッション

文化服装学院の服装科2年生の学生たちが、ちひろの絵から子ども服を制作しました。絵のなかの服を忠実に再現した作品や、絵からイメージをふくらませてデザインした作品など10点を展示します。



子ども服制作:文化服装学院 服装科2年生 スタイルング:本谷智子 撮影:北島宏美



5. グリーンドットのワンピース 2018年

ちひろの絵の
イメージから展開した
キッズファッション



ちひろの絵を
忠実に再現した
キッズファッション



7. 花のワンピース 2018年



8. 青いワンピース 2018年



9. 青いワンピースの少女
1970年代前半



ちひろ美術館コレクション

絵本で楽しむ装い

2019年3月1日(金)～5月6日(月・祝)

主催：ちひろ美術館

ちひろ美術館では、いわさきちひろをはじめとする日本の絵本画家の作品のほか、欧米、アジア、東欧やロシア、南米やアフリカなど34の国と地域、207名の画家の作品約27,200点を収蔵しています。本展では「キッズファッション」、「装う動物」、「物語のなかの装い」の3つのテーマから、絵本に描かれたさまざまな装いをご紹介します。絵本ならではの装いをお楽しみください。



10. ケイト・グリーンナウェイ
(イギリス)
花束を運ぶ子どもたち
1876年頃

キッズファッション

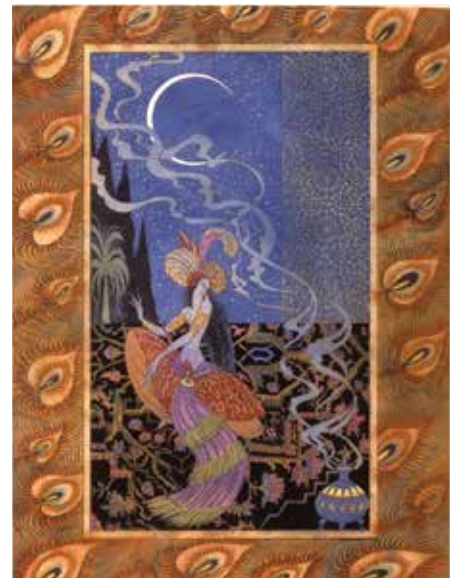
絵本のなかに描かれた大人顔負けのカラフルで凝ったデザインの美しい衣装は、子どもたちの憧れを誘うことでしょう。そこには、子どもと子どもの文化を大切に想う画家のまなざしが感じられます。



11. エフゲーニー・ラチョフ
(ロシア)『てぶくろ』より
1950年

物語のなかの装い

物語絵本のなかには、ファンタジーの世界へ誘う壮麗な衣装や、世界各国の気候や風土と文化に育まれてきた民族衣装などバラエティ豊かな装いが見られます。



13. エロール・ル・カイン (イギリス)
『アラジンと魔法のランプ』より 1981年

装う動物

寓話や昔話のなかに出てくる動物をはじめ、絵本のなかには擬人化された動物が数多く登場します。装う動物たちの姿からは、人間の行動様式や性格をパロディ化した痛快なユーモアが感じられます。

12. アーノルド・ローベル (アメリカ)
『ふたりはいつしょ』のイメージ 1980年



2019年3月1日(金)～5月6日(月・祝) 会期中のイベント

展覧会関連イベント

●ドレスコード特典

「なりきり!絵のなかの装い」

展示作品(リリース内1~3,6,9~13の絵)のなかの人物や動物に「なりきって」ご来館の方に、当館絵本カフェのドリンク券を差し上げます。

※対象の作品(絵)はWEBサイトに掲載します。
 ※ワンピースとタイツ、上着(シャツ)とズボン(スカート)、スカートとエプロンとスカーフなど、服を含むアイテム2点以上のコーディネートで「なりきり」来館認定します。
 ※帽子と靴、バッグと帽子など服飾小物だけの組み合わせでは、なりきり認定できません。
 ※絵と同じポーズをとらなくても、動物のお顔でなくても大丈夫です。



●講演会

「いわさきちひろの作品にみる子ども服の特徴」
3/21(木・祝)15:00～16:30

講師 朝日 真(文化服装学院 西洋服装史 専任教授)

対象：一般 定員：50名

参加費：700円(別途入館料)

※要申し込み 2/21(木)受付開始

14. ピンクのワンピース 2018年

●松本猛ギャラリートーク

3/10(日)15:30～

講師：松本猛(ちひろ美術館常任顧問)

ちひろの息子である松本猛が、作品にまつわるエピソードなどを、お話しします。 ※参加自由、無料

●わらべうたあそび

3/30(土)11:00～11:40

講師：服部雅子

(西東京市もぐらの会代表、はとさん文庫主宰)

対象：0～2歳児と保護者

定員：15組30名

参加費：無料(別途入館料)

※要申し込み 2/28(木)受付開始



●学芸員によるギャラリートーク

毎月第1・3土曜日 14:00～ ※参加自由・無料

●絵本のじかん

毎月第2・4土曜日 11:00～ ※参加自由・無料

協力：ねりま子どもと本ネットワーク

次回展示予定

2019年5月11日(土)

?

7月28日(日)

●ちひろが描いた日本の児童文学

●<企画展>

Untold Tales ショーン・タンの世界展
(仮題)

いわさきちひろ ほおじろの巣と少年 1971年



※詳細は、ちひろ美術館ホームページでご案内します。
 ※イベント参加費のほか、別途入館料が必要です(高校生以下は入館料無料)。
 ※定員、参加費が記載されていないものは、参加自由、無料です。
 ※展覧会名・会期・内容等は、予告なく変更する場合がございます。

●展示会期…2019年3月1日(金)～5月6日(月・祝)

●開館時間…10:00～17:00(入館は開館の30分前まで)

●休館日…月曜日(祝休日は開館、翌平日休館。GW期間は無休)

●入館料…大人800円/高校生以下無料

団体(有料入館者10名以上)、65歳以上の方、学生証をご提示の方、公式WEBサイト割引特典提示の方は700円/障害者手帳ご提示の方は400円、介添えの方は1名まで無料/視覚障害のある方は無料/年間パスポート2500円

●交通…西武新宿線上井草駅下車徒歩7分

◎JR中央線荻窪駅より西武バス石神井公園駅行き(荻14)上井草駅入口下車徒歩5分

◎西武池袋線石神井公園駅より西武バス荻窪駅行き(荻14)上井草駅入口下車徒歩5分

◎駐車場あり(乗用車3台・身障者用1台)

【ハッシュタグ#chihiroをつけて情報をシェアしましょう!】
 Instagramやtwitterで #chihiro のハッシュタグをつけて投稿していただいた写真は、公式サイトでご覧いただくことが可能です。(展示室での撮影はご遠慮ください)



公益財団法人いわさきちひろ記念事業団

ちひろ美術館・東京

〒177-0042 東京都練馬区下石神井4-7-2

chihiro.jp

お問い合わせは、広報担当：高津^{こうづ}・北村まで

Email: publicity@chihiro.or.jp

テレホンガイド 03-3995-3001 03-3995-0772(業務用) FAX 03-3995-0680